



生田信一（ファーイंक）

お家でワークショップ—金属活字を文具チックに使ってみたよ

今回は私（生田）とコピーライターの酒井さよりさんの2名で横浜の築地活字さんにお伺い、活版印刷のお話を伺ってきました。取材の詳細は、書籍「暮らしの図鑑 文房具」（翔泳社）で掲載させていただきました。ぜひご覧になってください。

本コラムでは、酒井さよりさんが取材の際に築地活字さんの花形装飾活字を購入し、文房具愛好家ならではの視点からいろいろ試された成果をご報告します。お家で楽しむワークショップ風の内容になっています。お楽しみください。



（写真1）書籍「暮らしの図鑑 文房具」（翔泳社）。本書では築地活字様の活字鋳造の工程も取材させていただきました。



（写真2）築地活字様での取材風景。

書籍「暮らしの図鑑 文房具」で築地活字さんを紹介しました

はじめまして、こんにちは！ コピーライターの酒井と申します。文具大好き女子です。今回はファーイंकの生田さんのご縁から、本サイトのTOPページのTOPICSでご紹介している「暮らしの図鑑 文房具」の制作スタッフに加えていただきました（写真1）。

本書の工場見学で取り上げた活版印刷、金属活字の鋳造の取材をきっかけに、購入した金属活字。この金属活字で、ステイホームの楽しみに文具的なハンドメイド、ひとりワークショップを行ってみました。その内容をご紹介したいと思います。印刷の専門知識などは勉強不足の一文芸ユーザーで、紙や印刷への愛と好奇心は人一倍強いのが取り柄です。広い心でご一読いただければ幸いです。

2021年1月の取材では横浜の築地活字様に伺い、代表の平工希一（ひらくまいち）さんにお話を伺っています。（写真2）は、右より平工さん、酒井、生田さん、活版・活字プロジェクトの「字心」のメンバー、アーリークロスの落合さん。築地活字は本サイトの「[築地活字で活字鋳造の現場を見学しました](#)」の記事で生田さんも取材されています。



（写真3）私が数冊かけて買い集めた、活版印刷のペーパーアイテム・コレクションです。活版印刷の独特な質感がとても好き。



（写真4）こちらも私のコレクション。以前に参加した、活版印刷ワークショップで作ったアイテム。グリーティングカード、メモパッドなど。

欧文活字&花形活字を購入してみた

独特の存在感と普通の印刷にはない風合いが目を惹く、活版印刷のペーパーアイテムは文具女子の大好物（写真3、4）。そして今回、金属活字の製造現場を見学させていただけることに！ 金属活字鋳造の渾身レポートは、「[暮らしの図鑑 文房具](#)」をご覧ください。

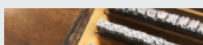
築地活字の工房にはできたての輝く活字がズラリ。専用の印刷機を使わなくても、金属活字をスタンプとして使える、クラシックな活字ホルダーもあります（写真5）。名前の活字をWクリップで留めて、ネームスタンプとして使うのも楽しそう（写真6）。スタンプインクだけでハンドプリント、手で活字を印刷できると知って、活字がぐっと身近に感じられました。



（写真5）活字を固定して手で印刷できる活字ホルダー、すごくおもしろい！

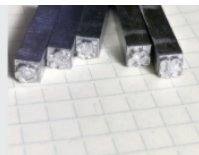


（写真6）セロテープで留めた活字をWクリップにはまむとネームスタンプに。





(写真7) 見慣れない活字？が並んでいます。



(写真8) 装飾用に花や植物をモチーフにしたものが多いようです。こちらは一辺が約5ミリ弱の4号サイズ。



(写真9) 購入した活字の一部です。上：約5.3ミリの3号活字、右：4号活字、左：センチメートル18ポイントの活字。



(写真10) 花形活字のバリエーション。



(写真11) 紙地活字の壁に貼られている花形活字で装飾されたメニュー。

花形装飾活字って？

花形装飾活字（以降、花形活字と表記します）とは、なんでしょうか。「花形装飾の博物誌」（誠文堂新光社刊）によると『西洋の活字版印刷で使われてきた花や模様の形をした活字』とのこと。別名をフルーロン＝Fleuronともいい、活字ですが文字ではなくて、もともとは記号として句読点のかわりに使われたり、組み合わせて模様や装飾などに使われたりしていたとか。日本には明治の頃に活版印刷とともに伝えられ、書籍の装飾や扉ページなどに用いられてきたようです（写真10、11）。

花形活字の類にはトランプのマーク、☆などをはじめ、花や草などをモチーフにしたもの、線やスカラベなどクラシックなデザインも揃っています。これは手帳やスケジュールのデコに、カードや手紙のアクセントなどにスタンプとして使えるはず……、ということ色々試してみました。



(写真12) ハビットトラッカーのき日はやったよ！スタンプに、テンションを上げてチャレンジ♪



(写真13) ウィークリーのマーキングと終わったタスクに。

お家で活字を楽しむ（その1）花形活字で手帳やノートをデコる

まずはダイアリーのマンスリーページ、ハビットトラッカーの記録に活字スタンプを使ってみます。自分のできる健康づくり、語学や楽器の練習、SNS投稿など、日々の習慣にしたいことを書き出し、できたかどうかを毎日チェックして、1ヵ月間を振り返るハビットトラッカー。空欄が多くても気にしません。ゆるーく行っています（写真12）。

1週間のスケジュールで、ポイントになる予定にスタンプとして、今週のタスク終了のマークにも押しています（写真13）。



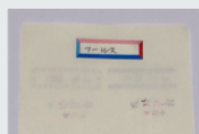
(写真14) 黒地のカードに花形活字をスタンプ。



(写真15) チェル、一筆箋、封筒にもスタンプしてみました。

お家で活字を楽しむ（その2）カードや封筒をデコる

組み合わせることで印刷の装飾に使われてきた花形活字、コーナーに押すと映えるデザインが美しい。これは他のスタンプでは表現できない、この活字だけの魅力です。本のタイトルなどの装飾、罫線などにも使われていた花形活字を、手持ちのカードや一筆箋、封筒などに押してみました。ヨーロッパの音りがふんわり漂うイメージになったような……（写真14、15）。



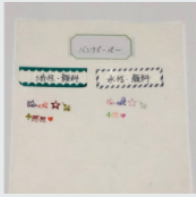
お家で活字を楽しむ（その3）どれにする？インクパッド色いろ

金属活字でスタンプするとき、どんなインクパッドを選ぶのが正解？ 油性、水性？ 染料、顔料？ そもそも、どう違うの？ と悩む方も多いでしょう（これらの違いについては「暮らしの回

(写真16) フールス。



(写真18) トモニリバー。



(写真20) バンクペーパー。



(写真22) ツバメフールス。

(写真17) フールス裏。



(写真19) トモニリバー裏。



(写真21) バンクペーパー裏。



(写真23) ツバメフールス裏。



(写真24) 手持りのインクパッド。

紙「文房具」で詳しく解説しました)。

どんなインクと相性が良いのか、活版活字を手持ちのスタンプインクを使って、4種類の紙にスタンプして検証してみました(写真16~23)。左側が油性・顔料タイプ、右側が水性・顔料タイプのインクパッドでスタンプし、紙裏も撮影し裏写りを確認。あくまで個人的な感想ですが、フールスとツバメフールスの相性が良いように思えました。

平工さんにインクについて伺ったところ、印刷用インキは油性なので、本茶なら油性が滲透しているとのこと。手帳やスケジュールなどの裏抜け※を避けたいなら水性・顔料系インクを。厚手のカードなどに押したいなら、油性インクが良いかもしれません。(写真24)は文具店等で購入したインクパッドです。

※「裏抜け」とは、紙の上にインクで文字・図形などを記すとき、紙の裏側までインクが浸透してしまう状態を指します。ただし紙との相性、押したときの圧などもあるので、絶対に裏抜けがないとはい切れません。色いろいろお試しいただけたらと思います。

インクの色を変えるときやスタンプをし終わったら、金属活字の印面をアルコールを含ませた布かウエットティッシュで拭きましょう。紙の繊維が活字の印面に入らないよう布がおすすめのことです。

お家で活字を楽しむ(番外編)手紙やギフトのデコレーションに

金属活字を紙以外にも押してみよう! ワックスを買ってきて、シーリングスタンプもどきにもチャレンジ。シーリングスタンプは文様が凸になるのですが、活字を使った場合は凹になります。それでも予想以上に、キレイにできました。お試しいただくときは、火の扱いに気をつけてください。ギフトタグや封筒用に使うなら、大きいサイズの活字、線柄が丸い形の方が良さそうです(写真25)。



(写真25) シーリングスタンプもどき。

百花繚乱 装飾花形活字

花形活字のデザインのバリエーションを、築地活字のサイトでも見ることができます。まだまだ、欲しいものが出てきそう。

活版印刷に引き入れられる魅力のひとつとしてまず挙げられ、そして知れば知る程にその奥深い世界へと誘われる装飾花形活版活字。所蔵数、品質共に自信を持ってお薦めしております。見本は以下のリンクを参照してください。

[築地活字樓の花形活字見本](#)

外出をはじめ色々制限があるこの期間、活版印刷の長い歴史に思いをはせながら、金属活字&市販のスタンプインク、シーリングワックスなどを使って、ひとりワークショップを楽しみました。

革のスタンプなど、まだまだ活字で遊べそうとホクホクわくわくしています。

活版印刷に興味のある方、手軽に体験してみたい方は、リアルなワークショップへの参加もおすす
めです。今回同った築地活字、アーリークロス、なまためプリントの3社による活字・活版プロジ
ェクト、「字心」では楽しい企画も進行中とか。興味のある方は「字心」のサイトをチェックして
みてくださいね。

では、次回をお楽しみに！
(TEXT：酒井さより)

株式会社 築地活字 平工希一



2019年、創業100年を迎える築地活字の5代目。父平工栄之助から事業を受け継ぎ、活版活字の製
造販売や活版印刷の受注は勿論のこと、鋳造見学体験会やワークショップなども開催。また、「活
版TOKYO」など各種イベントにも積極的に参加し、新しい活版のニーズ拡大に努めている。地元
横浜では、2013年、2014年と「活版 横濱」を開催している。
一般の人たちが手軽に活版を楽しめる活字ホルダーの販売など、販路を広げている。
ちなみに岩田母型製造所の創立者である岩田百蔵は、母方の祖父にあたる。

HP： <http://tsukijii-katsujii.com>
Twitter： <https://twitter.com/6BSVh7bhSktC79j>
活版活字プロジェクト 字心 HP： <https://ijigocoro.net/>



[ライター・プロフィール] 酒井さより

コピーライター。企業・商品・サービスの広告全般の企画・制作、ライティング、社内報の取材編
集記事なども手がけています。「暮らしの図鑑 文房具」（翔泳社 2021年3月刊行）では文具の基
礎知識のインク・筆記具等の記事と、工場見学のページを担当しました。文具好き。

[ホーム](#) > [活版印刷、ぶら散歩](#) >

ツイート 22 いいね！ 0 Pocket




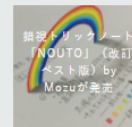

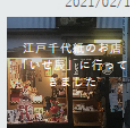


WRITER



生田信一（ファアインク）
その他の記事は[こちらから](#)>>>
[ホームページ](#)

1988年滋賀県生まれ。東京 新宿区で編集プロダクション、ファアインクを運営する。書籍やムックの企画・執筆、制作などを行うほか、教育機関や企業内のDTPや印刷関連の講座やセミナーを受け持つ。これまで手がけた共著書は、『カラー図解 DTP&印刷スーパードキメ事典』『プロなら誰でも知っている デザインの原則100』『InDesign/Illustratorで学ぶ レイアウト&ブックデザインの教科書』（以上、ポーンデジタル刊）、『デザイン。知らないと思う新・現場の100のルール』『デザインを学ぶ1 グラフィックデザイン基礎』（以上、エムディエヌコーポレーション刊）、『Illustrator 図解 デザイン事典CC/CS6/CS5/S4/CS3』（翔泳社刊）、『Design Basic Book 第2版』をはじめ学ぶ、デザインの法則』（ビー・エヌ・エヌ新社刊）、『レイアウト・デザインの教科書』（SBクリエイティブ刊）などがある。

RECOMMEND

| | | | |
|---|---|---|---|
| <p>2018/09/10</p>  <p>生田信一（ファアインク）</p> | <p>2020/06/10</p>  <p>生田信一（ファアインク）</p> | <p>2017/02/10</p>  <p>生田信一（ファアインク）</p> | <p>2020/07/10</p>  <p>生田信一（ファアインク）</p> |
| <p>2019/08/10</p>  <p>生田信一（ファアインク）</p> | <p>2021/02/10</p>  <p>生田信一（ファアインク）</p> | <p>2017/04/10</p>  <p>生田信一（ファアインク）</p> | <p>2020/08/10</p>  <p>生田信一（ファアインク）</p> |

海外の翻訳書も数多く手がける。代表的なものに『基点で学ぶ、デザインの法則150 -Design Rule Index』（ビー・エス・エス新社刊）、『アニメーターズバイブルキット』（グラフィック社刊）、『初めて学ぶ造紙法』（エムディエヌコーポレーション刊）などがある。

WEB MAGAZINE



お家でワークショップー会風遵守
きて且チェックに使ってみた...

WRITER
生田信一（ファイ
ンク）



和紙のリユース

WRITER
白石奈都子 Natsuko
Shiraishi



紙に厚みあり「新パファン紙N」

WRITER
平和紙業株式会社



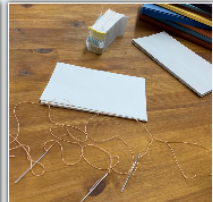
ロゴの製版

WRITER
株式会社 和光



手塗りの和紙紙の魅力を伝えるた
に RE:KAO

WRITER
日須 美紀



これも和紙紙、あれも和紙紙、た
ぶん和紙紙、まっとう和紙紙...

WRITER
京都大学図書館資料
保存ワークショップ

—MORE—

